

2003 年度 W G 活動成果報告

(2004 年 3 月 29 日作成)

委員会名	クリマアトラスの実用化 WG	主査名：渡 辺 浩 文
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境設計小委員会)	主査名：三 浦 昌 生
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	クリマアトラスの実用化に向けた活動として、クリマアトラスの更新について GIS 等の新しい技術を取り入れながら継続するとともに、自治体における利活用方法やマップ作成法の標準化を検討する。研究成果の一部を出版物にとりまとめる作業やシンポジウムの開催等についても実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	都市気候現象は地域によりその規模や形態が異なるため、委員は全国各地からほぼ満遍なく選定している。 石田秀樹(北海道東海大学)、渡辺浩文(主査：東北工業大学)、平野勇二郎(国立環境研究所)、足永靖信(建築研究所)、成田健一(日本工業大学)、李海峰(建築研究所)、岩井一博(信州大学)、芝池英樹(京都工芸繊維大学)、鳴海大典(幹事：大阪大学)、吉田篤正(大阪府立大学)、宮崎ひろ志(姫路工業大学)、竹林英樹(幹事：神戸大学)、清田清良(広島工業大学)、依田浩敏(近畿大学)、堤純一郎(琉球大学)、ほか協力委員数名	
2003 年度予算	1 0 0 , 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回： 5/10, 出席 9 名 第 2 回： 11/23, 出席 9 名 第 3 回： 3/18, 出席 10 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1) CUTE 仙台・第 43 回東北環境設備研究会のなかで「クリマアトラスの実用化ワークショップ・仙台」を開催(11/23-24, 東北工大にて) 2) 「都市・建築計画のための気候学入門」刊行準備(企画刊行小委員会に作業 WG 開設済) 3) 「環境気象学」編集協力(2004 年 3 月発行, 環境情報科学センター) 4) 地球環境委員会都市気候対策小委員会主催の公開勉強会への企画協力 (2004 年 4/12 第 7 回都市気候対策公開勉強会 「クリマアトラス実用の技法と適用」予定)
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 成果の取り纏め(出版)やシンポジウム・ワークショップの開催といった点で成果をあげることができた。次年度では公開勉強会も踏まえ標準化の検討や自治体における利活用などについての検討を進めたい。
その他評価すべき事項	都市環境のクリマアトラスは近年行政分野でも都市環境気候図として着目されており、本 WG の社会的価値は高い。